

＜抄録作成時の注意点＞

平成 23 年 12 月 22 日改正

1-1 学術大会（支部を含む）の発表に関して

発表に関しては以下の申し合わせに従ってください。

1. 発表の内容は、本部学術大会および支部学術大会あるいは他学会で発表済みあるいは発表予定でないものに限ります。
2. 抄録が採択された後には演者の変更をすることは認められません。発表予定者が事情（病気、忌引き、大学公務等）により学会に参加できない場合にのみ、共同演者が発表を代行することができます。その場合には事前に理由書を学会事務局に提出し、了承を得てください。その場合の変更は、主演者の実績にはなりません。発表の実績は認めます。共同演者や代理の者がいなかった場合で事前に理由書を提出して了承を得ている場合、主演者の実績も発表の実績にもなりません。ただしこれらについては下記4の項目は適用されません。理由なき演者変更の場合や指定時間までにポスター掲示がなされていない場合には演題取り下げとなります。こちらについては下記4の項目も適用されます。
3. 抄録の採択後に、発表を取り下げすることはできません。共同演者がある場合には必ず代わって発表を行ってください。単独の場合には、発表ができない理由を文書で理事長宛に事前に送付して、許可を得てください。
4. 上記の手続きを経ずに取り下げた場合、あるいは学会当日に発表されなかった場合には、その後の本部学術大会および支部学術大会における発表を1年間許可しません。
5. 口頭発表（課題・一般）とポスター発表では同一発表者は併せて1演題のみになります。ただしケースプレゼンテーションは除きます。
6. 発表者の数は5名までとし、多施設にわたる疫学調査研究のみ8名までとします。

1-2 抄録について

- ・ 投稿された抄録は査読委員会が査読し、受理あるいは修正、不受理を判定します。
- ・ 抄録のタイトルに商品名は使用できません。
- ・ 動物実験については、所属機関の倫理委員会の承認を受けていることを明記してください。
- ・ 臨床研究においては、所属機関の倫理委員会の承認並びに被験者の同意を得ていることを明記してください。
- ・ 抄録内容の不適正ならびに記載要領を満たしていない場合は、査読委員会の判断をもって修正を依頼する場合があります。なお、変更が適切に行われなかった場合には、採択できない場合もありますのでご了承ください。
- ・ 抄録は学会誌特別号に事後抄録として掲載されます。
- ・ 抄録が受け付けられた後の、演者ならびに発表内容の変更はできません。

1-3 共通の注意事項

抄録記入の注意事項

- (1) 表題：[1] 表題において副題を用いる場合は、必ず2行目へ改行してください。
[2] 表題には、基本的に商品名、略号を用いないでください。
[3] 表題に「第〇報」は使用しない。内容のわかる副題で対応してください。
- (2) 所属：[1] 大学に在籍の場合：所属されている大学の教室または講座名を記入してください。
[2] 病院に在籍の場合：所属されている病院名または科名を記入してください。
[3] それ以外の場合：所属されている研修施設名（学会が認定している研修施設に

限る), または支部名〔4〕を参照)を記入してください。個人の歯科医院名の記載はしないでください。

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 〔4〕 東北・北海道支部 | 英文表記 Tohoku-Hokkaido Branch |
| 関東・甲信越支部 | 英文表記 Kanto-Koshinetsu Branch |
| 中部支部 | 英文表記 Chubu Branch |
| 近畿・北陸支部 | 英文表記 Kinki-Hokuriku Branch |
| 中国・四国支部 | 英文表記 Chugoku-Shikoku Branch |
| 九州支部 | 英文表記 Kyushu Branch |

- (3) 本文:〔1〕ワードファイル等からコピーペーストで貼り付ける場合には、文字の大きさのポイントは関係ないですが書体には日本語は明朝体(全角)、英語は Time New Roman(半角)を使用してください。一般的でない書体等使用の場合うまく張り付けができないことがあります。また特殊記号などについてはシステムの外字記号を用いていない場合は、抄録確認の際、エラーになったり、確認画面で別文字に変換される場合がありますのでご注意ください。(本部大会演題登録システムについて)
- 〔2〕句読点は全角のピリオド〔.〕とコンマ〔,〕を用いてください。
- 〔3〕文字数は最大1000字程度(全角)を目安とし70%以上の字数を満たしてください。
- 〔4〕Ⅰ目的、Ⅱ方法、Ⅲ結果、Ⅳ考察および結論に沿って原則記載してください。必ず行頭にⅠ目的:、Ⅱ方法:、Ⅲ結果:、Ⅳ考察および結論:を記述し、その後ろに全角スペースを一マス分入れて本文を記述してください。
- 〔5〕症例報告に関しては「方法」を「症例の概要」に変更することを認めますが、他は〔4〕に準じてください。

文章表現:

- () 「～と信じる」「～と確信する」「～と思う」「と感じた」等の主観的な表現を用いていませんか?
- () 「～の失敗」等 社会的に影響を与える表現を用いていませんか?
問題事例あるいは合併症等の表現を用いてください。
- () 差別的な表現(性別、人種 など)は用いていませんか?

図表の扱い:

- () 抄録に図表、写真等は含まれていませんか?

参考文献:

- () 原則参考文献は記載できませんが、それが守られていませんか?
(パテントや著作権に関連して必要な場合は例外とします)

形式:

- () 英文タイトルは 和文タイトルと整合性のあるものとし、最初の文字のみを大文字にしてください。
例) Study of initial implant stabilization.....
- () 本文は Ⅰ目的:
Ⅱ材料および方法:
Ⅲ結果:
Ⅳ考察および結論: と分けて次の行から記入していますか。
(例) Ⅰ目的: 本研究は……
Ⅱ材料および方法: 実験には…
- () 句読点には「,」「.」を用いていますか?

1. 研究報告

形式：

- () I 目的： II 材料および方法： III 結果： IV 考察および結論：の項目に分けてわかりやすく簡潔にまとめられていますか？

著者数の規定：

- () 研究報告で5名まで、または他施設にわたる疫学研究の場合8名までですか？

タイトル：

- () 商品名をタイトルに入れていませんか？
() 未承認材料名を入れていませんか？
() 固有の施設名を入れていませんか？
良くない例：○×大学付属病院インプラント科における…
○×歯科医院における…
適切な例：大学付属病院インプラント科における……
インプラント専門外来における……
() 継続しての発表においても、その違いを明確にして簡潔な副題をつけていますか？
第○報は使用しない。
(例) ショートインプラントの臨床的評価： 骨質の影響

I 目的：

- () 何を明らかにしようとした研究であることを明確に記載してありますか？
() 仮説を明確に示していますか？
() 術者の責任のみで臨床応用した結果の発表ではありませんね？

II 材料および方法（疫学、調査報告では「対象および方法」）：

- () サンプルサイズ（試料数、被験者数）、期間等は記載してありますか？
() 動物実験ならびにヒトにおける研究では、倫理委員会の承認ならびに患者の同意を得ていることを記載していますか？
() 薬事未承認材料のヒトへの使用においては、倫理委員会の承認ならびに患者の同意を得ていることを記載していますか？
() 略語についてきちんと最初にその意味を本文中で説明をされていますか？

III 結果：

- () 目的に対応した結果を明確に示していますか？
() 統計処理を施した場合、その結果や統計方法を記載していますか？

IV 考察および結論：

- () 今回の実験や研究結果から導き出された結論のみを述べていますか？
() 研究結果の臨床的な意義に触れていますか？

2. 症例報告

形式：

- I 目的： II 症例の概要： III 経過： IV 考察および結論： の項目に分けて簡潔にまとめられていますか？
- 各症例は最終の上部構造の装着から演題申し込みの時点で3年以上を経過していますか？
- 主訴としては「インプラント治療を希望として来院して…」は不十分かつ不適切ですので、より具体的に「〇〇部位の欠損による審美不良ならびに咀嚼困難を主訴として来院し…」のように表記してください。（参考 咀嚼困難， 審美不良， 発音困難）

著者数の規定：

- 5名までになっていますか？

I 目的：

- 報告する症例を通して何を提示・発表しようとしているのかを明確に示していますか？

II 症例の概要：

- 症例の年齢，性別，欠損状態，全身状態，使用したインプラントの長さ，直径など，最小限必要な情報を記載していますか？
- なぜ当該症例における治療法を選択するにいたったのかを記載していますか？
- 薬事未承認材料の商品名は含まれていませんか？

III 経過：

- 最終の上部構造装着から、あるいはその後新たな対応処置を行ってから、3年以上経過していることを明示していますか？
- どのような方法で経過を評価したかを明示していますか（X線写真，ISQ等）？

IV 考察および結論：

- 報告する症例からどのようなことが今後に生かせるかを示していますか？
- 他の処置方法を用いた場合との相違点を示していますか？
- 今後のメンテナンスにおいて問題となる点などを述べていますか？

3. 臨床での提案・工夫

ここでは経過3年以下の症例においても，特に技術や発想がユニークでオリジナル性が高く，紹介に値すると考えられるものが報告できますが、タイトルにはそれがわかるように配慮して下さい。

形式：

- I 目的： II 方法または症例の概要（または方法の概要）： III 考察および結論： の項目に分けて簡潔にまとめられていますか？

著者数の規定：

- 演者は5名までになっていますか？

I 目的：

- 報告する症例を通して何を提示・発表しようとしているのかを明確に示していますか？

II 症例の概要，方法の概要：

- 紹介しようとする症例の概要（または方法の概要）が，箇条書きなどで簡潔に記載されていますか？

III 考察および結論：

- 報告している方法が，これまでの方法に比べてどのような臨床的な利点・欠点があるのか，特徴は何か等が箇条書きで簡潔に示されていますか？
- 安全性に対する配慮の記載がされていますか？

4. 歯科技工士セッション，歯科衛生士セッション

- () 抄録は 前述の研究発表の書き方に従っていますか？あるいは『臨床の提案・工夫』での抄録の書き方に準じて記載されていますか？